

○ 社会環境分野

区分	■ 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 ( · · 第回総会 ; 市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ( )	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国 担当省庁 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 県 担当部局 健康福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> その他 名称 全国民生委員・児童委員連合会		
件名	18 民生委員・児童委員制度の在り方と負担軽減について		
提案市	飯田市		
提案要旨	<p>民生委員・児童委員を取り巻く社会状況は、制度創設から100年経過する中で大きく変化している。福祉関係制度の改正が行われる中で、この制度が時代に適応しているかの検証をお願いしたい。</p> <p>また、民生委員・児童委員のなり手不足解消のため、民生委員・児童委員活動の負担軽減について検討し、具体的に負担軽減につながる活動の指針を示すことを要望する。</p>		
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度が変遷する中、民生委員・児童委員活動の環境は大きく変化している。また、活動の中心を担う年齢層（60～70歳）は、以前と違い多くが就労するなど、その活動に総じて負担感が増している。</li> <li>・今回の一斉改選において、新たな民生委員・児童委員のなり手不足が顕著である。推薦母体である地域自治組織からは、活動の負担軽減や処遇改善など、活動内容の在り方も含め制度の見直しを求める要望が大きい。</li> <li>・また、負担感や責任の重さから任期1期で退任する委員の割合が高く、継続した地域とのつながりが持ちにくくなっている状況である。</li> <li>・今の時代に合った制度への見直しと、活動の負担軽減や処遇改善などは今後の安定した選任につながる。</li> </ul>		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の都道府県充足率はH25年改選時97.3%、H28年改選時96.5%と低下している。</li> <li>・民生委員・児童委員の改選時新任委員の割合はH28年改選時都道府県平均では34.4%。当市では55.7%。</li> <li>・当市の民生委員・児童委員の活動状況はH30年度一人当たり平均164.8日である。（全国平均129.8日）</li> </ul>		
法令関係	民生委員法、児童福祉法		